

和の光

宝塚市立西谷中学校



1通のお手紙を通して学んだこと

校長 筒井 啓介

以前の学校通信でもお伝えしましたが、西谷中卒業生(地域在住)から心温まるお手紙をいただき、私からもお礼の手紙と共に学校通信を送らせていただきました。この先輩はいつも自治会の回覧版で学校通信「和の光」を読んで、西谷中生がいきいきと活躍する姿に心を打たれ、西谷中生への期待、教職員と保護者への激励の言葉を手紙に綴ってくださいました。また、散歩をしていると、下校中の西谷中生が「ただいま」と明るい笑顔で声をかけてくれたことも、この先輩からのお手紙で知ることができ、**西谷中生の優しさ**と**地域で子どもたちを見守ってくださっていること**をととても嬉しく思いました。

今回は、お礼の手紙とBOROさんの講演会の様子を書いた学校通信を添えて送らせていただきました。すると、嬉しいことにお返事の手紙を頂きました。早速読ませていただくと、素敵な内容が綴られていましたので、ここに紹介させていただくことにしました。

BOROさんへのお礼の手紙について、「遠い所へ…」「忙しいにも関わらず…」「私たちのために…」など**自然に相手を気遣える西谷中生の良さ**について、お褒めの言葉をいただきました。(外部の方からご指摘いただけると、西谷中生はもちろん教職員の励みになります。)西谷中では国語の時間を使って「暑中見舞い」「残暑見舞い」「年賀状」「お礼状」などを書く機会を設けていますが、**学んだことが自然に活かせることは立派なことだ**と思います。

また、中学生は人生において心身ともに大きく成長する時期で、それぞれの生徒には無限の可能性が秘められています。**この時期に出会う友人・先生方との関り、行事や生徒会活動、部活動などの経験を通して、その可能性を開花させることができます。「打てば響く」という言葉がありますが、中学生時代はまさにその時期に当たると**思います。このお手紙にも書かれていますが、私も中学生時代がとても好きです。辛い事や厳しい事があれば共に涙を流す。一つの目標に向かって級友・先生方と力を合わせ、実現できた時には共に喜び合う。このようなことを通して、子どもの成長に関わりながら自分も成長できることは、他に代え難いものがあります。

1通のお手紙を通して、私は貴重なことを学ぶ機会になりました。また、教師としての原点を振りかける機会になりました。この出会いをいつまでも大切にしたいと思います。心温まるお手紙を有難うございます。いつまでもお元気に、そして西谷中の先輩として生徒・教職員を見守っててください。

炎々の日が続きます
 和の光お送り頂きましてありがとうございます
 BOROさんの講演会の様子。カラー写真も頂き
 感謝、生徒達も喜ぶ、先生方、保護者も皆様が
 地域の皆様がお楽しみくださる様子が生き生きと
 感じられます。感想文もBOROさんの志に対して
 暑いところ来たばかりで、遠い所来たばかりで
 何かお礼の気持ちも、相手にな
 ーこの思いが伝わります。BOROさんの人柄まで
 伝わってきました。
 BOROさんには使命があるとおっしゃったそうですが

どうぞお体が大切に

八月三日

西谷中学校

校長 竹岡 啓介 様

どうぞおね。

便命は人の為にとみだけではなく自分と生かすこと
にもなすまひかね。私も思慮したことをす
中学生の皆さんはふから大人へと向そつく力が
漲溢してまひ。掴みどころのほつ来ま本程と内色
さやまひ。私は中学生の軍火が大好きです
ふからも静の光を通して中学生の皆さんの日常
を日常と感興して頂きたいと思ひます。

校長先生の和の光編集、作成のに苦勞を思ひつ
急々とご配慮ありかとうふかいます。